

H29 年度 夏休み前全校集会

日時：平成29年7月24日(月)

第5限目(13:50~)

場所：本校体育館

校長訓話(概要)

1. 学校内の安全対策

先週、校内の部室棟で盗難事件が発生し、被害届を警察署に提出して捜査を進めている。

2. 学校の施設・設備

図書館の木質化工事と体育館の改修工事を完了し、本年度、校内のスロープや階段の手すりの設置工事と格技場の錬心館の改修工事を行う。錬心館は屋根や外壁、フロアを新しくし、LED照明を付ける。9月の体育大会後から工事を始め、12月までかかる。施設・設備を大切に活用してほしい。

3. ユネスコスクールと青少年赤十字加盟校

本校はユネスコスクールに加盟し、青少年赤十字にも加盟している。県内の保育園から高校、特別支援学校を合わせて480校を超える加盟校があり、本年度、モニター校として全校で赤十字への意識を高めていく。ユネスコスクールは、ユネスコの理念を実現するため、平和や国際的な連携を実践する学校で、

ESD(持続可能な開発のための教育)を実践する。双方とも、**世界の平和と人類の福祉**に貢献する活動である。

4. 赤十字

クリミア戦争(1854年)でのナイチンゲールら篤志看護師の傷病者救護活動に刺激され、アンリー・デュナン(スイス人で第一回ノーベル平和賞受賞者)が赤十字を提唱した。「人の命を尊重し、苦しみの中にいる者は、敵味方の区別なく救う」ことを目的とし、世界190の国と地域に広がる赤十字社・赤新月社のネットワークを生かして活動する組織である。日本赤十字社はそのうちの一社であり、西南戦争(1887年)における負傷者救護で初めての活動を行って以来、国内外における災害救護をはじめとし、苦しむ人を救うために幅広い分野で活動している。

5. 青少年赤十字

青少年赤十字は、生徒が赤十字の精神に基づき、**世界の平和と人類の福祉**に貢献できるように、日常生活の中での実践活動を通じて、**いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成**することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開している。青少年赤十字は「**健康・安全**」「**奉仕**」「**国際理解・親善**」の3つの実践目標と、主体性を育むために「**気づき**」「**考え**」「**実行する**」という態度目標を掲げる。

6. 委員会活動と部活動の活躍

家庭クラブは、地域と連携した環境保全活動に取り組む。学校近くの川の水質浄化のため、流域の清掃活動、川の水質検査、水質汚濁防止の標語看板設置、回覧板による環境保全を呼びかけるチラシ配付、保育園での環境劇上演をしている。池田町ホタル祭の参加し、子どもたちと「環境すごろく」「環境かるた」「環境ビンゴ」の遊びを通して環境保全の啓発を行った。

演劇部は、西濃地区高校演劇大会に出場し、伊藤教諭創作「天の川のほとりを歩いた」を上演する。

吹奏楽部は、全日本吹奏楽コンクール東海大会予選、岐阜県吹奏楽コンクール地区大会、中部吹奏楽コンクール県大会に出場する。

それぞれの活動で活躍する姿がある。「人生は、心に描いた筋書きに沿って進むドラマである」。夢や願いは言葉にして筋書きを作ることにより、実現に一步近づく。自分が人生の主役だが、「自分は何者なのか。自分は何に向いているのか」という問いがある。答えは、「自分の中をいくら探しても自分は見つからない。相手との関係の中で、自分とは何かが決り、自分の役割も見つけることができる」。

1か月間の夏休みが始まる。学習や部活動、文化祭や応援団などの行事、ボランティアに取り組む中で、あせらず、あきらめず、日々積み重ねていけば、目標の実現に近づく。充実した夏休みを。



表彰伝達

空手道部 第65回岐阜県高等学校総合体育大会

女子団体組手 準優勝 代表 桑原柚菜

男子団体組手 3位 代表 大倉怜志

テニス部 県高校総体西濃地区予選

女子個人戦ダブルス 2位 鹿野杏 小林えり奈

西濃地区総合体育大会

女子団体戦 3位 代表 梶谷莉央

バドミントン部 県高校総体西濃地区予選

女子団体 2位 代表 林宏香

男子団体 3位 代表 三好遼

英検 2級合格 岡崎彩果

漢検 2級合格 後藤早貴 三和愛仁花 代表 後藤早貴



体育大会 結団式

まず、各団の団長・副団長に校長先生より団旗が授与されました。その後、校長先生および生徒会長から激励の言葉を受けたのち、各団の団長が声を振り絞り、所信表明を行いました。応援リーダーを中心に、思い出に残る体育大会を作り上げてほしいと思います。

